

# 子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081

<https://www.kodomonono-mori.net> [mailtp:info@kodomonono-mori.net](mailto:mailtp:info@kodomonono-mori.net)

J P子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2024年10月号)

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



いつの間にか秋めいてまいりました。

子森通信今月号では、来年2月に福井で開催される「全国集会&研修会2025」

をご案内しました。今回も、とても意義ある内容とすることができました。

年に一度、全国の参加園が集う機会です。是非、ご参加をご検討ください。

リレーエッセイ今月号からは、ウレシバモシリの高橋さんにご寄稿いただきます。

写真は、「東北復興グリーウェイ」でのどんぐりを拾う活動です。

1年は早い！もう、そんな季節なんですね。

(目次)

1. J P子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2025」のご案内
2. 「どんぐりSDGs劇団」環境教育活動レポート
3. リレーエッセイ (2024年10月号)

日本郵政グループからのお知らせ

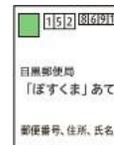
日本郵政グループは「J P子どもの森づくり運動」の支援のほか、子ども達に向けた様々な取組みを行っています。

【特別協賛】

JP 日本郵政グループ



お手紙をくれたみんなに  
ぽすくまからお返事が届くよ!



ぽすくまの動画はこちら

ぽすくまと仲間たち  
© JAPAN POST Co., Ltd.

ぽすくまと仲間たちは郵便局のキャラクターです。ぽすくまは、くまのぬいぐるみの郵便屋さんです。仲間たちもみんな手紙が大好きです。

あて先はこちら

〒152-8691  
目黒郵便局「ぽすくま」あて

※ぽすくまへのあて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願いします。返信ご希望の場合は、手紙に住所（建物名・部屋番号まで）・氏名を忘れず記載ください。



YouTube  
ぽすくま【日本郵便】  
[https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX\\_NqUUZ9A](https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ9A)

## 1. J P子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2025」のご案内

全国のJ P子どもの森づくり運動の会員が集い、2日間に渡ってより良き保育・幼児教育について協議する恒例の「全国集会&研修会2025」のご案内です。

**1日目の「全国集会」のテーマは、『園庭と遊びを考える』**としました。園庭は、子どもたちにとって日常的に、自然遊びを实践できるもっとも身近なフィールドです。「全国集会」では、～**緑豊かな園庭づくりを推進する**～「むぎの穂保育園」出原園長先生と、～**自由で主体的な遊びを推進する**～「日本冒険遊び場づくり協会」関戸代表のお二人を講師に迎え、望ましい園庭環境と遊びのあり方について学び、参加者と共に考える機会としたいと思います。

**2日目の「保育防災研修会」は、2部構成として、午前中は、岩手県大槌町で開催された「第1回保育防災サミット」**のレガシーを引き継いで、「**第2回保育防災サミット**」としました。「保育防災サミット」の基調講演には、能登半島地震で被災されながら地域の拠点として活動された**石川県穴水町「平和こども園」の日吉園長先生**をお迎えし、自然災害時の保育防災のリアリティについてお話しいただきます。午後は「保育防災アクションマイスター認定講座」2024年度受講生の卒業発表と保育防災マイスター認証式を行い、全国の講座受講園で1年間取り組まれた保育防災の事例に学びたいと思います。

会場の都合で、募集人数（先着40名）が限られています。ご希望の方は、早めのお申し込みをおススメします。  
**お申込み、及び詳細は、同封のチラシ、ホームページをご参照願います。**

### 1) 開催概要

- ①開催日：2025年2月24日(月・祝)、25日(火)
- ②会場：「福井市地域交流プラザ（通称：AOSSA）」研修室B・C  
福井市手寄1-4-1 AOSSA5階 ※福井駅より徒歩1分
- ③主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
- ④共催：認定こども園大野幼稚園 国際校庭園庭連合 日本支部
- ⑤特別協賛：日本郵政グループ
- ⑥後援：（公社）こども環境学会（予定）
- ⑦協力：（公社）全国私立保育連盟 （公社）大谷保育協会 （公社）国土緑化推進機構、他



出原先生

### 2) スケジュール（予定）

	【2/25(火)2日目】実践に学ぶ保育防災研修会
<b>【2/24(月)1日目】テーマを深掘りする全国集会</b>	<b>（1部）「第2回保育防災サミット」</b>
12:30 開会式	10:00 基調講演
12:40 基調講演：「キンダーガルテンづくり」 ～子どもたちが遊びたくなる園庭環境～ むぎの穂保育園 出原 大氏	<b>令和6年能登半島地震被災からの地域支援</b> 平和こども園 園長 日吉 輝幸氏
13:40 事例発表～子どもが育つ遊び場環境について～ 日本冒険遊び場づくり協会 代表 関戸 博樹氏	11:00 パネルディスカッション ～能登半島地震から学ぶ保育防災～
14:20 「園庭緑化運動」2024年度活動発表	<b>（2部）「保育防災認定講座」活動発表と認証式</b>
1) モデル園3園活動発表（30分）	13:30 「保育防災アクションマイスター認定講座」 2024年度活動発表と活動総括
2) 園庭緑化運動2024年度のふりかえり 田園調布学園大学大学院 准教授 仙田 考氏	1) 認定講座活動発表：受講園（8園） 2) 認定講座活動総括
15:30 パネルディスカッション	（株）タフ・ジャパン 代表 鎌田 修広氏
17:00 終了予定 ※終了後、懇親会を開催予定。	15:00 「保育防災アクションマイスター」認証式

## 2. 「どんぐりSDGs劇団」環境教育活動レポート

J P 子どもの森づくり運動による幼児期のSDGs・環境教育活動、「どんぐりSDGs劇団」の活動が広がっています。今月号では、東京都品川区の環境教育施設「エコルとごし」での活動レポートです。

- 実施日時：9月8日（日）10時～12時 ●会 場：エコルとごし（東京都品川区）
- 対 象 者：未就学児から小学三年生までの児童とその保護者
- 活動テーマ：一緒に考えよう！ぼくとわたしのSDGs

イベント会場であるエコルとごしは、体験型展示や多彩なイベント・講座で環境を楽しみながら学ぶことをコンセプトとした施設です。昨年、施設の依頼によりどんぐりSDGs劇団のお芝居を上演、好評いただき今回2回目の開催となりました。

イベント当日は10組の親子が参加され、SDGsについての学びを深めました。



多目的ホールには紙製の人工芝が敷かれ、子供たちは靴を脱ぎ好きな場所に座ったり寝転がったりお友達とお話したり自由に過ごしています。

子森ネットの塚原代表によるSDGsのお話が始まると興味深そうに耳を傾け、動物当てゲームでは、答えが分かった瞬間に「あ！」と目を輝かしニコニコし、どんちゃんがりちゃんが活躍する舞台では一緒に踊ったりと楽しそうな子供たち。そしてその様子を見守るお父さんお母さんの笑顔が印象的でした。

舞台上演の後は休憩をはさんで隣接する戸越公園へ飛び出し公園の中でネイチャービンゴゲームを行いました。子どもたちはビンゴに書かれた「鳥のなき声」や「蟻」「つるつるしたもの」などを、暑い日差しも何のそので五感を研ぎ澄ましながら夢中で探し歩いていました。

塚原代表の「全部見つけた人～」の声に「は～い！」と元気に返事を返す子供たち。お芝居とゲームを通して自然と共存することの大切さ面白さを体感してもらえたイベントとなりました。



### 3. リレーエッセイ (2024年10月号)

リレーエッセイ10月号からは、「ウレシバモシリー 保育と自然をつなぐ研究会」主宰として、乳幼児からの五感を通した身近な自然あそびの実践等に取り組んでおられる高橋京子さんにご寄稿をお願いしました。保育の現場からのエッセイです。

#### 教えから出会いへ～子どもの心が動いて、自然となかよしに！～

ウレシバモシリー 保育と自然をつなぐ研究会 主宰 高橋京子



生涯に渡り生き生きと幸せに生きる力を育むために、乳幼児期からの五感を通した身近な自然遊びを日々の保育現場で進めて参りました。子どもたちは多様な自然の命や事象に出会い、馴染み親しむ程に愛着を持ちます。自然の美しさや面白さ、不思議さ、いびつさに自ら感じて心動かすことで、もっとやってみたい！もっと知りたい！自ら考えて試し集中して遊び込む姿が生まれます。そしてやってみたこと、できたこと、知りえたことを「見てみて！聞いて！」と自分らしく伝え表現したくなります。子どもたちの中に「生き生きサイクル」が生まれ、次第に『自然となかよし』に。今回のリレーエッセイでは、子どもたちが遊びを通して自然となかよしになっていく園での事例をご紹介します。



#### ● 雨となかよし

雨の日は「雨と遊ぶ」絶好のチャンス。乳児でも雨の音を楽しみます。大きな窓ガラスに吹き付ける雨粒をガラス越しにじっと見ただけで子供の心が動きます。幼児はテラスに出て空き缶やお鍋等を持って、降ってくる雨を受け止めます。様々な容器に落ちる雨水が、それぞれ違った音で響きあい、即興の雨の音楽会を楽しみます。そんな雨と遊んでいると、もっと雨と遊びたくなり、子どもたちは、ポリ袋でマイレインコートを作りました。

雨の日にそのレインコートを着て、早く園庭に出かけたい！でもなかなか雨が降らないと、雨の日が待ち遠しくなります。みんなで空を仰いで、「雨さーん！あそぼう！！」と雲に呼びかける姿が生まれてきました。待ちに待った雨が降ると、マイレインコートを着て、一斉に園庭に飛び出します。透明のプラカップを手に、雨水を集めて遊びます。空から降る雨が、園庭のどこに流れていくのか。軒下、木の葉の先、鉄棒等にぶら下がっている雨の滴を夢中でカップに集めます。自分で集めた雨水に愛着が湧きます。雨水で何して遊ぼうか・・・スポイトでそっと一滴を葉っぱの上に垂らしてみると、水を弾く葉っぱの上では、コロコロ転がりキラキラ光る滴に心が釘付けになりました。

滴に興味を持った子どもたちは、今度は、雨上がりに園庭に出て、葉っぱの上でキラキラ光る雫を探して遊びます。雨水が掛かったクモの巣を見つけて思わず「きれい！」と歓声が上がります。雨の遊びを通して、空を見上げて水の巡りにも思いを馳せる雨となかよしの子どもたちです。(園事例 東京都葛飾二葉幼稚園)

#### ※執筆者紹介

##### ウレシバモシリー 保育と自然をつなぐ研究会 主宰 高橋京子 (写真)

豊かな子どもの育ちを応援したい思いを込めて、主に関東圏の保育現場に伺い、その園環境を見直し、身近な自然を保育教育資源として捉えなおす提案や、乳幼児からの五感を通した身近な自然あそび実践や、保育と自然をつなぐ講演・保育指導者研修も進めています。主な著書に「決定版 1 2 か月の自然あそび 8 7」(新星出版社) NHK Eテレ「まいにちすくすく」番組の「あそびのたね」シリーズで自然遊び監修。 ※参加者募集：ウレシバモシリ主催 保育者向け自然遊び研修会 ⇒<http://ureshipa.jp>

